

Bグループ

北川靖子（荒屋小）

森脇真弓（安宅小）

滝野真裕美（串 小）

藤原 瞳（能美小）

上水口奈美（東陵小）

伊地知あすか（苗代小）

西本ゆき（蓮代寺小）

酒井久美子（西尾小）

Bグループ

「子どもの自立心を伸ばす為に、親が意識すること」

はじめに

6月15日の第二回母親委員会で田中恵子先生の講演会が行なわれました。たいへん幅広く興味深い内容でしたが私達の心にいちばん響いたのは、「学力も大切だが、自立も大切である」という部分でした。

確かに勉強だけでいても自活ができなければ、本末転倒もいいところです。どうすれば子どもの自立心が伸びるのか？

私達は子どもを伸ばすことを焦点にした本から情報を収集し、意見の交換をおこないました。

以下は「これは参考になる！」と思ったところを、まとめたものです。

1 ほめる・・・子どもを伸ばすうえでの重要な鍵

講演で田中恵子先生はおっしゃっていました。

「勉強もスポーツも苦手、手先が器用でもない、分かりやすいカタチでほめるところがないような子でもよくみると、熱心に係りの仕事に取り組んでいる、掃除の手を抜かないといった良い部分は必ずある。

そこをほめてあげると、こちらが驚くほど伸びていくんです」

☆長所を認め、ほめると

- ・劣等感が解消される。
- ・自己肯定感が深まる。
- ・向上心や意欲が増していく。



結果、子どもの成長を促される



2 叱る・・・ほめるだけに留まっても弊害が

☆叱り方で気をつけたいところ

最大の課題は親の感情コントロールである

自分の感情をコントロールできる大人に育てられた子は、愛情豊かで、寛容で明るくて、プラス思考で積極的で自信に満ちた子になります。

参考図書 宝島社 親野智可等 著「親力で決まる」

その日の天気や温度、体調、家庭環境や仕事の状況に左右されて、荒れた気持ちをそのまま子どもにぶつけてはいませんか。
私達もつい感情的になってしまって、反発心だけを招いて、親心は伝わらずに気をつけてほしいところが改善されないまま、なんてことが多々あります。
これではお互いフラストレーションがたまる一方ですよ。

感情や気分のまま子どもを叱りつけそうになったら、上記の言葉を思い出して、まずは自分の感情や気分を客観的にみつめる。
自分がどんな状態のときに子どもを叱っているのかを把握し、間が取れるようになれば、無駄に怒る回数も減ってくるのではないのでしょうか。

☆ほめ方と叱り方の注意点

○できたところに注目する	×間違えたところばかり注意する
○やったときにすかさずほめる	×やらないときに叱る
○まだできないのも無理はないと思う	×できて当然と思う
○以前のその子と比べる	×友達と比較して注意する
○少しのことでも「ありがとう」と伝える	×親が「ありがとう」を言わず、子どもにだけ要求する

参考図書 1万年堂出版 明橋大二 著

「子育てハッピーアドバイス 大好きが伝わるほめ方叱り方」



3 失敗と向きあう

子どもが失敗をしてしまうと、「何をやっているの！」と責める気持ちになったり、「だめな子ね」と失望してしまったり、心に波風が立ちます。
できれば失敗や挫折とは無縁でいて欲しいというのが親心ですね。
ですが失敗から得られることはたくさんあります。

☆失敗から学べるもの

- ・ 困難に耐える「ストレス耐性」がつく
- ・ 失敗の後、すばやくもとに戻せる力、復元力がつく
- ・ 間違えにしっかり気づき、繰り返さないように修正できるようになる
- ・ 後始末を通して問題解決能力がつく
- ・ 失敗して、つらい気持ちを味わうことで、他人の気持ちもわかるようになりやさしい人になれる

参考図書 小学館 岸英光 著「失敗する子育ては伸びる」

☆失敗から学んだ成功者の一例

失敗して大切なのは、その後です。
その失敗から学び、新たなチャレンジができるかどうか、です。
学校では百点までしか取れませんが、社会では失敗から学びチャレンジできる人なら、二百点、三百点、それ以上の働きができるようになります。
失敗から学び続ける人は、偉大な人になります。
ホンダの創立者本田宗一郎氏は言いました。
「世間は私を成功者だというがとんでもない。私がこれまでやってきた九十九%のことは失敗ばかりだった。成功したのはわずかに1%だけです」

参考図書 学陽書房 中井俊巳 著「学力も人間力も伸ばす子育て 51のヒント」



☆失敗したときの声かけや態度と注意点

良い例	NGワード
失敗に向き合う子どもに寄り添い、 心を支える	「ママが悪かった」 「あなたは悪くない」
「どこができたの？」 「どうしてかな？」 「今度はどうしたらいいかな？」	「ここが悪いのよ」 「今度はここを直しなさい」
「悔しかったね」	「自業自得よ」「自分で反省しなさい」
泣いているときはそっと見守る	「弱い子ね」「泣くんじゃないの！」
比較はやめて本人がどうだったかを見る	「お姉ちゃんはまだもっと頑張っていたわよ」 「〇〇君を見習いなさい」
期待した気持ちを伝える	「やっぱり無理だったのね」 「無理だと思っていたわ」

参考図書 小学館 岸英光 著「失敗する子育ては伸びる」

偉人の名言の紹介

本田宗一郎氏

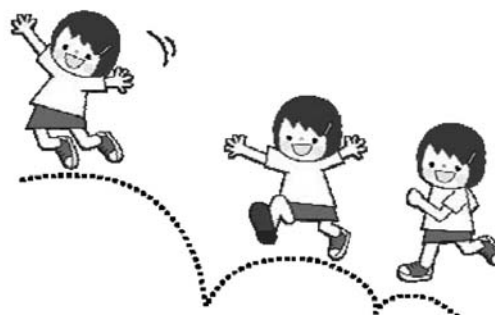
『雨が降ったって、嵐がきたって大地に根を張る立派な木に育てなければいけないのが、人間の教育であると思う』

山本五十六元帥

『やってみせ、言って、聞かせて、させてみせ、ほめてやらねば人は動かじ。
話し合い、耳を傾け、承認し、任せてやらねば、人は育たず。
やっている、姿を感謝で見守って、信頼せねば、人は実らず。』

最後に

意見交換の場ではやってはいけない例ほど、
「ある。ある！」と盛り上がりました。
この研究が皆様のついやってしまう日頃の
「やってはいけない部分」を見直す
きっかけになれば幸いです。



Bグループ一同